

東京都退職校長会



会報

発行所 東京都退職校長会
発行者 角田 美 枝 子

〒113-0034 文京区湯島4-12-3 鈴木日退連共同ビル5F
電話 03-5814-5615

東京都退職校長会ホームページ <http://totaikou.jp/>

「本会は、幼・小・中・高・特別支援学校等、各校種の退職校長・園長で組織されています。これは他団体にはない特色であり、本会の活動に広がりをもたせています。」
「現職五校種代表との教育懇談会」
その一つに、現職の幼・小・中・高・特別支援学校（五校種）との強い繋がりがありません。八月には五校種代表との教育懇談会をもちました。会は幼稚園長会長の「五校種が一堂に会しての情報交換を楽しみに出席しました。」との挨拶で始まりました。各校種の会長または副会長が、現状と課題を子供への深い愛情をもって熱く語り、その姿に強い感銘を受けました。
意見交換の場では、本会が五年度に行った「教育寄与のアンケート結果」に高い関心が示されました。小学校長会副会長からは「小学校長会として対応していただきたい。」との言葉をいただきました。中学校長会会長は「学校現場の人材不足と本会の希望をどう繋ぐか」について、情報を提示してくださいました。



七十一年の歴史が築いた
東京都退職校長会の特色
東京都退職校長会会長 角田 美枝子

現職校長会と本会とのホームページの接続も話題になりました。現在は東京都高等学校校長協会のホームページとのみ、「相互リンク」されています。
幼稚園長会からは「会報」の全園配布の協力を申し出ていただき、早速、会報二二三号を都内全園に配布いたしました。
今回の懇談会を通して、五校種と本会が相互の課題と実状を知り、協力し合っていきたいとの思いを強くしました。

「東京都教育庁との連携」
本会の特色には東京都教育委員会との絆も上げられます。今夏も教育庁を表敬訪問いたしました。教育長室で浜佳葉子教育長と瀧沢佳宏教育監にご挨拶した後、藤田修史指導課長、赤津一也企画推進課長と懇談いたしました。その中で「各区市から教育支援の話があったときは貴会の各支部へ話を繋げましょう。」との心強い言葉もいただきました。
また「教育への寄与」を目的の一つに掲げる本会は、現在行われている教室での学びの現状を知る

必要があると考え、「講演」を依頼しました。教育庁総務部デジタル企画担当の江川徹課長が、「デジタリ」について十月の支部長会で、講演して下さることが決まりました。
本会の「教育研究プロジェクトチーム」は二年次の研究を始動させています。研究予算は、日本教育公務員弘済会の団体教育研究助成事業の審査に通りましたので、交付された研究助成金を充てます。虫の音に心ならずも季節でございます。会員の皆様の健やかな日々と、ご活躍を祈念申し上げます。

主な記事

- | | |
|-------------------|---------------|
| P1 巻頭言 会長挨拶 | 支部だより |
| P2 五校種代表との教育懇談会 | P6 新入会員の声 |
| P3 一般会計・特別会計検討委員会 | P7 高齢者叙勲受章委員 |
| 教育研究 PT | 支部長の変更 |
| P4 業務運営改善委員会 | 新年懇親会案内 |
| 財政安定化委員会 | P8 物故者、応募コーナー |
| HP 委員会 | 編集後記 |

五校種代表との教育懇談会―報告―

日時 8月26日(月) 13時30分
場所 鈴木日退連共同ビル 3階会議室

令和6年度の現職五校種代表との教育懇談会を実施しました。参加者

- 東京都国立幼稚園・こども園長会 会長 和田万希子
- 東京都公立小学校長会 副会長 佐藤 友信
- 東京都中学校長会 会長 堀越 勉
- 東京都公立高等学校校長協会 会長 加藤 瑞樹

東京都立特別支援学校長会はご都合で出席頂けませんでしたが文書をお送り下さいました。

概要 司会進行は赤坂寅夫副会長。記念撮影、会長挨拶、自己紹介、各代表からの教育課



教育懇談会参加者

題の情報提供と続きました。その後、角田美枝子会長から「本会の特色」「本会の課題」、壺内明会員増強PT委員長から「会員増強の取り組み・協力のお願ひ」、副会長から各部の取り組みを紹介し、質疑・応答・意見交換を行いました。有意義な時間となりました。

東京都国立幼稚園・こども園長会 会長 和田 万希子
「国立幼稚園・こども園の存在意義の発信を」

令和6年6月の文部科学省「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会 中間整理案」では、国立幼稚園には、これまで培ってきた質の高い教育をもとに、地域の幼児教育の質の向上を図る基盤としての役割が期待される、と述べられました。このことは、私たち国立幼稚園・こども園にとって大きな追い風です。園児数が減少し、公立園の在り方が問われている今だからこそ、幼保小の架け橋プログラムの推進など、国立

園の存在意義を強く発信し、行政との連携、教育環境の充実、教員の資質向上に努めてまいります。

東京都退職校長会におかれましても、国立幼稚園・こども園に、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

東京都公立小学校長会

会長 植村 洋司

当面する課題は様々あるが、特に「教員不足」は義務教育の根幹を揺るがす喫緊の課題と捉えている。

国の動向として、中教審特別部会の「審議のまとめ」が重要である。大事なポイントは、「3つの柱を一体的・総合的に推進する」という審議のまとめの趣旨理解である。3つの柱とは、
(1)学校における働き方改革の更なる加速化
(2)学校の指導・運営体制の充実
(3)教師の処遇改善

である。全連小としては、「審議のまとめ」を肯定的に受け止め、確実な実現を目指す」というスタンスでいる。

今一番大事なことは、教育に携わる者が「一枚岩」になることである。ぜひとも、全国の校長とともに、みんなで力を合

わせて、国を動かしていきたい。今後とも、東京都退職校長会、都教委、関係団体との連携を強化し、「学校を元気にする」ために尽力したい。

東京都中学校長会

会長 堀越 勉

「東京都公立中学校の現状と課題について」

中学校を取り巻く環境は大変厳しい。今年度特に顕著になっている課題として「不登校対策」「修学旅行対策」があり、校長会でも度々話題となっている。

「不登校対策」については、不登校対応巡回教員という新たな職ができ、全都で33名が配置され、不登校対策のマネジメントを1名につき5校を担当して巡回している。新たな取り組みであり、様々な課題が浮き上がってきている。今後、数年のうちには都内611校の公立中学校全校を巡回する体制が構築される。

「修学旅行対策」については、インバウンド、物価上昇、熱中症対策、運輸業界のルール改定などが複雑に絡み合うことで、修学旅行の在り方に影を落とし始めてきている。

東京都公立高等学校長協会

会長 加藤 瑞樹

令和5年8月に中央教育審議会初等中等教育分科会の「高等学校教育の在り方ワーキンググループ 中間まとめ」が発表され、これからの高等学校の在り方に係る基本的な考え方として、質の確保・向上に向けて、生徒一人一人の個性や実情に応じて多様な可能性を伸ばす「多様性への対応」と全ての生徒が必要な資質・能力を共通して身に付けられるようにする「共通性の確保」を併せて進める必要があるとされています。

また、東京都教育委員会は、令和6年3月、都立高校を取り巻く状況が一層複雑化・多様化しており、不登校生徒や日本語指導が必要な生徒への支援など、子供の学びを後押ししていかなければならない状況を踏まえ、『都立高校の魅力向上に向けた実行プログラム』へ令和六年更新版を公表しました。そのなかで、デジタル技術を活用した教育の充実、グローバル人材の育成、都立高校における特別支援教育の充実など、新たに実施する取組や規模や対象等を拡大して実施する取組が示されました。

東京都公立高等学校長協会は、これら喫緊の課題に対して各校の実態に合った形で対応・解決することにより良い教育の実現に努めてまいります。

東京都特別支援学校長会

会長 相賀 直

「特別支援学校の現状と課題」現在、東京都特別支援教育推進計画（第二期）第二次実施計画の3年目を迎え、共生社会の形成に向けたすべての学びの場における特別支援教育の充実を目指した施策が展開されています。

次年度公表される同計画第三次実施計画の策定に向けては、特別支援学校障害種別校長会から都教育委員会に多岐に渡る課題が提起されました。

大きく括るとすれば、特別支援学校に在籍する幼児・児童・生徒の社会参画に向けた指導の充実、すべての校種における特別支援教育の充実のための支援の在り方などです。

また、今年3月に発表された学校における働き方改革の推進に向けた実行プログラムを受け、校長会として時間外在校等時間の縮減などに都教育委員会とともに取り組んでいます。

一般会計・特別会計

検討委員会

委員長 桐谷澄男

昨年度の「予算編成委員会」と「特別会計委員会」が合併し、標準の委員会になりました。

◎ 本会の一年間のあるべき健全財政を目指し、予算編成に取り組みます。年々、財政は心細くなるばかりですが、実のある活動がしっかりとできるような編成にします。

◎ 健全財政樹立を目指すうえで、忘れてはならないのが会員増強です。会員増強が無ければ健全財政は有り得ません。会員が増えれば会計も安定するのです。この会員獲得のために、会員増強プロジェクトチームが「一人一声」運動を立ち上げました。「一人が一人を勧誘する」という総力を挙げた「百名勧誘」が目標です。この二点は、車の両輪に当たり、健全財政のために不可欠で、特に、後者は重要であります。

研究の継続に向け

教育研究プロジェクトチーム

委員長 草野一紀

昨年度は、皆様のご協力のおかげで、アンケート調査を中心に本会が学校・地域の教育への支援の可能性について、支援の内容や学校支援の現状を整理し、報告書にまとめました。

その結果、本会の「学校教育を支援」に向けてのポテンシャルは高いものがあるが、残念なことに、組織としての学校支援システム構築は極めて困難であることが分かりました。都教育委員会も従来のような本会を活用する事業を復活する予定はないようです。ただ、新規の支援員の募集についての可能性は残されています。

本年度の研究は、各地区教育委員会の学校支援員の募集の状況について調査し、会員の皆様に情報発信するとともに、支援員の派遣といった支援以外の方法、例えば教員対象の研修会の開催や新入教員の指導・援助といったことについても検討していきたいと思っております。

「令和6年度業務運営改善委員会」の活動について

委員長 宇津木順一

令和5年8月、会長から5名の委員の委嘱があり本委員会が発足した。本年度はその2年目である。

5年度は会長からの諮問に基づき①本会の組織運営を表す組織図、②東京都の新たな定年制（定年引上げ及び役職定年制）の実施に伴う会則の一部改正案等について検討した。

令和6年度になって、①本部設置のクラブ活動運営に関する規程、②支部長会運営に関する規程、特にブロック長、支部長代表の選出方法や任期等について検討してきた。今後は、時代の変化とともに本会を取り巻く環境も大きく変わる中で、本会の現状、実態に即して「会則」「規程」について、本会の活動がより効果的、円滑に進めることができるような視点から改めて見直しを行い、業務運営の改善に資するよう努めたい。

今できること

財政安定化委員会

委員長 草野一紀

財政の安定には、大まかにくれば、①収入の増、②支出の減になりますが、①については寄附金は今後増える見込みはあまりなく、研究助成金の50万円は、本年度は確保できる予定ですが、次年度からは難しく、結局、新入会員を増やすことしか方法はありません。

②については、可能性を全て検討し、事務局長の給与削減、委員会の精選については、既に実行に移しました。支部活動助成金の縮小についても、次年度から実施になります。また各委員会等の回数の減、通信費等の節約は、既にご努力いただいているところですが、10月から郵便料金の大幅な値上げもありどこまで支出を抑えることができるか、予想できないのが現状です。これから何ができるのか、本委員会では皆様の理解を得ながら、支出の減について再度、検討してまいります。

ホームページ委員会

委員長 福島良樹

委員長 福島良樹

新会員の入会、会員増強、そして退職校長会の認知度向上にむけて以下の点を大切にしたいホームページ作成に努力していく。

①支部の活動内容、特に会員の貴重な意義のある活動や声を今後も掲載していく。また、会報で本部の魅力伝えるべく努力をしていく。

②ホームページの作成・運営・管理の業務を遂行する中で、

本会の目的、歴史、組織、取り組みなどをホームページに掲載することで、会員のみならず現職校長の方々にも本会の存在を周知していく。

③現職の園長・校長会と連携を図り、相互のホームページ上の交流が図られるよう働きかけていく。

④スマホ教室（ラインの活用）など会員に向けての研修会を開催していきたい。

支部だより

多種・多様な作品展

中野支部長 田中 弘志

中野支部は現在会員十七名で活動している。中学校は別組織、都退校には所属していない。

支部の活動は、総会、会報発行、趣味・作品展、東京新発見散歩、区長・教育長を囲む懇談会、定年退職校長との懇談会等を行っている。

趣味・作品展は、会場なかのZERO西館、出品種目は写真、絵画（油彩、水彩、水墨、版画、切り絵、ちぎり絵）、書、色紙、各人の趣味等多種・多様。出品者は会員、会員の家族、退職公務員連盟会員、他支部会員、中芯会、地域の方等出品数も五十点を越える。

東京新発見散歩（令和五年度中止）、区長・教育長を囲む懇談会は出席者は少ないが中野駅周辺の開発事業、新中野区庁舎のお話など毎年楽しみにしている。

会員の高齢化が進む中「健康第一」とし活動を進めている。

八王子市と同支部の最新報告

八王子支部長 辻野 宗行

八王子市は東京都の西端に位置する。南は相模原市、北は西多摩郡、そして西には高尾山や陣馬山がそびえ立っている。その西は山梨県である。人口は約五十七万人。

小中学校数は、百校を超えている。支部会員数は、百二十五名、二十一地区委員で構成している。毎年六月第二土曜日に支部総会を開催してきている。地区委員会を年六回、研究会を一回開催し、会員数の増加等につなげている。

又、クラブ活動としては、水墨画、マジック、パソコン、ゴルフ、ウォーキング、囲碁、史跡めぐり等があり、熱心に活動している。

更に年一回の、支部だよりの発刊に力を入れている。今年は四十五号になる。この年月を知ると、八王子支部の長い活動の歴史を感じる。

更なる活動の充実のために

埼玉県支部長 森山 裕夫

本支部会員数は百三十四名（特別会員と役職定年を各一名含む）支部創立以来五十余年、会員の親睦と互助・生涯学習の充実と推進が活動目的。絆と和を重視。年二回発行「さきたま会報」が本支部の議事録であり歴史書である。

さて、この数年間、会員の減少と共に支部事業推進を支える運営費確保が支部組織全体の問題として膨らみつつある。

本支部年会費二千五百円は今から二十五年前、現在の三倍の会員数がいた平成七年の定期総会で承認され、以来今日に至る。暑い最中、集まった検討会の委員から現在の本支部活動の実績を認めた上での来年度以降の本支部の将来を見据えた様々な意見が熱く飛び交い心強い。



ご希望のご予算に合わせてお葬式が執り行えます

東京都退職校長会会員の皆様へ

東京都民互助会は、東京都退職校長会 会員福利厚生の一環として昭和51年4月より団体契約によるお葬式サービスを提供しております。会員ご本人様はもとより、ご家族ご親戚の方々もご利用いただけます。

365日24時間 いつでも 迅速対応



0120-849-544

直葬・家族葬はもちろん ご弔問の多いお葬式まで承ります

Well Life ウェルライフグループ
東京都民互助会 平安祭典

ホームページ



本社:東京都杉並区上荻3-15-17 営業本部:東京都練馬区北町5-18-15 3階 TEL03-3396-7231

新入会員の声

よろしくお願いたします

千代田・中央支部 萩原 聡

令和四年三月に定年退職を迎えましたが、再任用校長として都立西高等学校で継続して職務に当たり、ご縁があり杉並支部に入会させていただきました。

この四月から、都立日比谷高等学校に再任用校長として異動し、千代田・中央支部にお世話になることになりました。

都立高校も生徒急減期を控え、生徒募集対策、探究活動の推進、教職員の働き方改革、部活動指導の在り方、生徒一人一台端末の活用や校務処理のDX化など、様々な課題に直面しています。

現場の責任者として、保護者対応など厳しい面も多々ありますが、生徒たちとの日々の対話を通して、将来の日本や世界を支えてくれる若者たちを育てていく楽しみがあります。

本会員の皆様、これからも、よろしくお願いたします。

よろしくお願いたします

狛江支部 川崎 貴志

この度、三十五年間の教員生活を終えました。特に狛江市では、最後の十七年間のほとんどを管理職として勤め上げることができました。これも諸先輩方や保護者、地域の皆様のお陰と大変感謝しております。

現在は、副校長補佐として初めて校長として着任した狛江第六小学校で勤務しております。

直接に子供たちと関わることはありませんが、それでも休み時間などに花壇の手入れをしていると、朝顔に水をやりながら成長を喜ぶ一年生の声が聞こえてきたり、こんな虫がいたよと何気に私に声をかけてくれたり、子供たちのもつ良さをゆったりと楽しんでいるところです。

甚だ微力ではありますが、退職校長会では、これまでの恩返しと、できることをやっていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

あんしん むすぶ
教職員共済

<https://www.kyousyokuin.or.jp/>

突然起こる自然災害。
一人ひとりが日常的に防災を意識することが大切です。

教職員共済のホームページでは、
防災情報や、学校での避難訓練に
役立つコラムを掲載しています。
ぜひご利用ください！



災害に備える

それでも防ぎきれない
想定外の自然災害や火災には、
教職員共済の火災共済と
自然災害共済で備えましょう。

あなたの大切な住まいと
家財をまもるために。

火災共済

住宅災害等給付金付火災共済

自然災害共済

まずはお気軽に資料請求を
家財契約のみでも
ご契約いただけます。



厚生労働省認可

教職員共済生活協同組合 東京都事業所

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 5 階
TEL : 03-3230-0818

高齢者叙勲受章会員

栄えのご受章お祝い申し上げます。（敬称略）

（令和6年7月10日現在、本部に届け出があった方々）

瑞宝双光章（5名）

長谷川順義（北多摩西部）

（令和4年受章）

重野 和夫（北多摩西部）

髙島 孝夫（北多摩西部）

浅見扶次男（北多摩西部）

（令和5年受章）

黒田 貞夫（埼玉県）

（福利厚生部担当副会長 増田 稔）

支部長の変更

新支部長は次の方々です。

墨田支部 松岡 一行

大島支部 増木 米孝

令和6年度 新年懇親会のお知らせ

会員の皆様及び支部間の親睦を深めることを願い、以下のように令和6年度新年懇親会を開催いたします。

申込方法等、詳細は支部長を通してお知らせいたします。

日時：令和7年1月26日（日）13：00～15：00

会場：主婦会館プラザエフ 7階カトレア

（JR四ツ谷駅、東京メトロ四ツ谷駅 徒歩1分）



がんと向き合う人を支える基本のがん保険

| <生きるためのがん保険Days1>入院給付金日額 5,000円 | | オリジナルプラン | 保険期間 | 月払保険料例 個別取扱 左記プランの場合 解約払戻金なしタイプ 保険料払込期間：終身/定額タイプ 特定保険料払込免除特約なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|-------------------------------|--|--|----|----|----|-----|--------|--------|-----|--------|--------|-----|--------|--------|-----|--------|--------|-----|--------|--------|-----|--------|--------|
| 診断給付金 | 初めて「がん」「上皮内新生物」と診断確定されたとき | がん・上皮内新生物それぞれ1回限り | 一時金として がん 上皮内新生物 50万円 5万円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 入院給付金 | 「がん」「上皮内新生物」の治療を目的とする入院をしたとき | 日数無制限 | 1日につき 5,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 通院給付金 | 「がん」「上皮内新生物」の治療を目的とする次のいずれかの通院をしたとき ①特定の治療(*1)のための通院 ②初めて診断確定をされた日、所定の治療(*1)を受けた日、または退院日の翌日から365日以内の通院 | ①日数無制限 ②通院期間中(365日以内)日数無制限 | 1日につき 5,000円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | 一生保障 | <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢</th> <th>男性</th> <th>女性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>60歳</td> <td>3,440円</td> <td>2,080円</td> </tr> <tr> <td>65歳</td> <td>4,110円</td> <td>2,330円</td> </tr> <tr> <td>70歳</td> <td>4,750円</td> <td>2,580円</td> </tr> <tr> <td>75歳</td> <td>5,375円</td> <td>2,855円</td> </tr> <tr> <td>80歳</td> <td>6,000円</td> <td>3,185円</td> </tr> <tr> <td>85歳</td> <td>6,695円</td> <td>3,615円</td> </tr> </tbody> </table> | 年齢 | 男性 | 女性 | 60歳 | 3,440円 | 2,080円 | 65歳 | 4,110円 | 2,330円 | 70歳 | 4,750円 | 2,580円 | 75歳 | 5,375円 | 2,855円 | 80歳 | 6,000円 | 3,185円 | 85歳 | 6,695円 | 3,615円 |
| 年齢 | 男性 | 女性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 60歳 | 3,440円 | 2,080円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 65歳 | 4,110円 | 2,330円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 70歳 | 4,750円 | 2,580円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 75歳 | 5,375円 | 2,855円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 80歳 | 6,000円 | 3,185円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 85歳 | 6,695円 | 3,615円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

・保障の開始まで所定の待ち期間(保障されない期間)があります。

(*1)所定の治療とは、手術・放射線治療(電磁波温熱療法を含む)・抗がん剤治療(経口投与を除く)・ホルモン剤治療(経口投与を除く)をいいます。

・ご契約の際には、「契約概要」「注意喚起情報」「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

・個人情報利用目的：アフラック等各種商品やサービスの案内・提供・維持管理に利用します。詳しくは弊社HPをご参照ください。

保険料は、2023年4月現在のものです。

※健康状態によっては、記載の保険料と異なる場合があります(保険料が割増となる場合があります)。お申込み後にアフラックから送付する書面をご確認ください。

資料請求・お問い合わせ・お申込みは
(平日 9:00～20:00 土日祝 9:00～17:00)

(募集代理店)アフラックは代理店制度を採用しております

三井住友信託銀行グループ
三井住友トラスト・ライフパートナーズ
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-11-1

AF003-2024-0208 6月6日(260606)

0120-357-212

(引受保険会社)

「生きる」を創る。 **アフラック**
東京第一法人営業部
Affiac

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル19F
Tel.03-6367-3666 Fax.03-3218-3887

(令和6年7月10日 届出現在)

物故者



謹んでご逝去を悼み

ご冥福をお祈り申し上げます

| 氏名 | 年月日 | 支部名 | 校種 | 年齢 | 名簿頁 |
|-------|---------|-------|----|----|-----|
| 井上 孝 | 6.3.31 | 狛江中 | 91 | 48 | |
| 木村 芳一 | 6.3.28 | 西多摩小 | 85 | 52 | |
| 柴 和紀 | 6.3.8 | 神奈川県小 | 97 | 70 | |
| 岩森 啓運 | 6.3.4 | 八王子中 | 86 | 31 | |
| 大野 静雄 | 6.2.29 | 大田小 | 94 | 9 | |
| 澤辺 寅造 | 6.2.26 | 練馬小 | 97 | 22 | |
| 和田 健一 | 5.12.29 | 練馬小 | 94 | 22 | |
| 小松千代夫 | 5.12.27 | 西多摩中 | 90 | 51 | |
| 前原 俊男 | 5.12.12 | 神奈川県小 | 93 | 69 | |
| 飯島 敏 | 5.12.3 | 練馬小 | 96 | 22 | |
| 菊田 英一 | 5.8.13 | 北多摩部小 | 87 | 46 | |
| 中西 勲 | 5.7.23 | 西多摩小 | 83 | 52 | |
| 岸本 眞 | 6.4.25 | 文京小 | 96 | 2 | |
| 清水 七郎 | 6.4.12 | 日南小 | 92 | 36 | |
| 林 幸成 | 6.4.6 | 埼玉県小 | 93 | 64 | |
| 柳下 昭夫 | 6.5.4 | 練馬小 | 97 | 22 | |
| 山室 博文 | 6.5.14 | 文京小 | 88 | 2 | |
| 亀井 亮 | 6.5.21 | 埼玉県小 | 91 | 67 | |
| 森田平太郎 | 6.5.23 | 西多摩小 | 91 | 56 | |
| 金井二三男 | 6.5.24 | 神奈川県中 | 91 | 69 | |
| 肥後 昌治 | 6.5.25 | 埼玉県中 | 92 | 66 | |
| 小林 司朗 | 6.5.27 | 西多摩小 | 91 | 57 | |
| 原 忠昭 | 6.6.8 | 神奈川県小 | 76 | 71 | |
| 大石 豊 | 6.6.14 | 千葉南部小 | 74 | 58 | |
| 山崎 和彦 | 6.6.19 | 千葉西部中 | 83 | 61 | |
| 加賀谷貞子 | 6.6.29 | 町田小 | 83 | 35 | |

(福利厚生部担当副会長 増田 稔)

応募コーナー

俳句



初蝶の風に逆らう術知らず
別世界つくる風あり夏木立
仏とも鬼ともなれずただ暑し

仙台市 岡嶋光雄

蕎麦打ちの軽き手さばき風光る
手を引かれ菩薩練り行く来迎会

気がつけば父似の癖や彼岸入

世田谷支部 柀津 啓

短歌



日焼けし子らの顔生き生きと
真白き歯より挨拶の 出る

子どもらに足をとられ羽根の切れし
青きカマキリつまみ持ち来る

強い子は泣かぬものよと血の滲む
膝をおさえて消毒受ける

中野支部 田中弘志

編集後記

執筆くださった皆様、情報を
くださった皆様。暑い中を有難
うございました。

発行は10月下旬ですが、原稿
をお願いし、お書き頂いたのは
夏なのです。パリでの第33回オ
リンピック、日本を縦断して大
量の雨を降らせた台風10号、そ
してパラリンピック。猛暑日が
50日を超えたという太宰府。記
憶に残るこの夏でした。

五校種の代表先生方にも、原
稿をお願いしました。会報の紙
数の関係で字数が少ないため、
ご苦勞をおかけした事と思いま
す。先生方は、紙面には載せて
いませんがそれぞれの現状や課
題のデータをまとめた資料をお
持ちくださいました。感謝申し
上げます。

データですが、PCや携帯を
利用したHP閲覧をお勧めしま
す。各団体ともHPを充実させ
ています。SNSの極端な意見
や虚言には注意が必要ですが得
られる情報は多大です。「変化
への対応」は「変化を知る」か
ら始まります。(榎本 勉)